

会議録

会議の名称	第5回 部活動地域移行検討委員会
開催日時	令和7年3月21日(金) 15時～16時45分
開催場所	市役所5階 5-4会議室
出席者	崔田委員長、赤羽副委員長、大西委員、堀池委員、宮坂委員、谷本委員、友田委員、阿藤委員、高橋委員、太田委員、山岸委員、安部委員、木島委員、冠委員、新井委員
事務局	教育部教育指導課 下斗米課長、阿部副主幹
議題	1 令和6年度の取り組みと令和7年度の予定について 2 部活動地域展開アンケートの内容について
資料の名称	1 第5回部活動地域移行検討委員会スライド資料
会議の結果	
議題1 議題2	令和6年度の取り組みと令和7年度の予定について説明、質疑 部活動地域移行に関するアンケートの内容について説明、質疑
議事の概要	
事務局	令和6年度の取り組みと令和7年度の予定について説明。 (資料1参照) 部活動地域移行に関するアンケートの内容について説明。
委員	～協議における主な意見等～ 文化関係課・団体として、演奏家連盟ではスクールコンサート等できるかもしれない。楽器の運搬のことを考えると吹奏楽だとパートごとの取り組みになるだろうか。また、土日の文化部の合唱、美術、吹奏楽の3つから考えて、取り組んでいけるとよいのではないか。受益者負担等で指導者の謝礼が用意できるならよい。
委員	スポーツ関係課・団体において、試行実施を検討している。何かの種目で、指導者を探し、イベント的なものになると思うが、土曜日か日曜日、2～3時間程度、中学生に指導する機会を設けようと思っている。どのような形でいつ頃誰がやるのかスポーツ課で企画してまとめていく。
委員	どの部活動でも、月に何回かでもいいので、合同で活動を行う機会を設

けるなど、地域展開していくための活動の素地、意識的な素地をつくっていくことが大切。どのような形がいいのか、模索していく。

委員

一日限りの野球教室などの実施は可能かもしれないが、それが地域移行にどう結びついていくのか、不透明なところがある。

委員

地域移行を進める母体があつて、取り組んでいる自治体もあるが、本市においては、現状、母体がない状況の中、取り組んでいる。それをどうしていくのが難しい。そういった中で、どのように進めていけるのか、試行錯誤しているところだと思う。例えば、市民に向けての地域レクリエーションのようなものを中学生も対象にして、そこに学校の先生方も参加していく。そのような機会を増やしていくことで少しずつ進んでいくこともあるのではないか。

委員

学校職員としては、大会参加がどうなっていくのか。大会の運営はどうなるのか。近隣他市等との足並みがそろわない中で、本市のみ取り組みが進むことで子どもの不利益になることは避けたい。現状では、学校の部活動をベースにしながら、定期的に地域展開のクラブチームとして土日は活動していく、という状況にとどまっている。

事務局

第4回での御意見を踏まえて、「保護者向けアンケート」は「保護者等向けアンケート」とした。

委員

アンケート実施にあたり、別紙で部活動地域展開の説明をつけることは考えているか。

事務局

アンケート実施にあたり、保護者への地域展開に係る説明が必要であると考えている。今後資料を作成して保護者へ説明する予定である。

委員

アンケート（教職員向け）を実施することで、項目の解釈によっては全員顧問制に対する疑義が生じる心配があるように思う。現状は、全員顧問制であることをしっかりと確認しておきたい。

委員

アンケートでは、誰が何の種目をできるのかを把握するほうがよい。兼職兼業のアンケートは記名で取った方がよい。何人くらい、誰がやれるのか把握することは大切である。

事務局

アンケートの記名・無記名については、検討する。

委員

教職員向けアンケートは以前とっているが、改めて実施する意義はあるのか。

事務局

前回アンケート実施の令和4年度から2年たっていること、また、アン

ケート項目を変更していることから、実施を考えている。意義あるアンケートにするためにも、アンケート項目に関するご意見等をいただき、検討する。

委員

「現状の部活動制度が続いた場合、顧問を引き受けようと思いますか。」の項目について、現状の部活動制度が続く前提の質問になっているように思うが。

事務局

現状の部活動制度に対して、どのような思いをもっているのかを把握することができる。否定的な意見が多ければ、部活動の地域展開を進めて行く一つの根拠になるだろうし、肯定的な意見が多ければ、部活動の地域展開を進める意義が問われることになるかもしれない。

委員

教職員向けアンケートで年齢をたずねる選択肢に10代があるのはどうか。指導者の報酬に係る選択肢の0円は無償の方が良いのでは。報酬の下限が1000円からはじまっているが、1500円位からの方が良いのでは。指導者は専門職であるから、相応の報酬を考えてほしい。

事務局

10代は削除する。0円を無償にすることなど、報酬額に係る選択肢の金額については、ご意見をもとに検討する。

委員

小学校5・6年生に答えにくい質問項目があることや、中学1・2年生とあまり傾向は変わらないのではないかと、ということから、アンケート対象は中学校にしぼってもよいのではないかと。

事務局

いずれ中学生となる小学校5・6年生も対象に実施したいと考えている。答えにくい質問項目については、検討する。